

## 第1回摂津市人間尊重のまちづくり審議会 要点録

日 時：令和3年9月1日（水）午後2時から午後4時まで

場 所：摂津市役所 301 会議室

出席者：委員全員出席（14人）

理事者：森山市長・大橋市長公室長

事務局：由井人権女性政策課長・杉本副主査

### ・次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付式（市長）
- 3 挨拶（市長）
- 4 委員紹介（自己紹介）
- 5 会長、副会長選任  
・奥田委員を会長、伊藤委員を副会長
- 6 会長あいさつ
- 5 議事（案件 人権問題に関する市民意識調査について）
- 6 閉会

### 議事録（要約）

#### 【開 会】

委員長：ただいまから第1回摂津市人間尊重のまちづくり審議会を開催します。

事務局から案件の「人権問題に関する市民意識調査」について説明をお願いします。

事務局：（「人権問題に関する市民意識調査」について説明）

委員長：委員からの質問や意見等はありませんか。

委 員：子どもの虐待について、ヤングケアラーの問題を掲載してはどうか。

事務局：「虐待やいじめ、ヤングケアラーなどの子どもの人権問題」に修正用語解説に「ヤングケアラー」を掲載します。

委 員：性的マイノリティという表現で、マイノリティという表現はマイナスイメージがあるが。また、「性的マイノリティ」の用語解説を追加した方が良いのではないか。

事務局：国が性的マイノリティという文言を使用しているため、現時点で使用が不適切な文言とは判断し難い。そこで、本調査は啓発も含まれているので、用語解説に掲載して説明します。

委 員：質問文の表現について、全般的に言い回しがくどくないか。

事務局：全項目の問や回答について、表現等について再度精査します。

委 員：法律や条例の名前は聞いたことがあるが内容は知らない場合等は「ある」・「な

い」どちらに回答をして良いかわからない。

事務局：回答を「知っている」「聞いたことがある」「知らない」の三択に変更します。

委員：現在の暮らし向きを尋ねる質問は必要か。

事務局：回答者の暮らしと人権意識との関連性を分析するため残す方向で考えたい。

しかし、プライバシー等への配慮を考え、回答に「答えたくない」を追加します。

委員：全般的に質問数や回答の選択肢が多すぎではないか。

事務局：質問量が多いと回答率低下の恐れがあるが、多くの人権課題の中で削除するのは難しい。市のキャラクターなどのイラストを掲載することで親しみやすく飽きさせないデザインの調査票に工夫します。

委員長：ほかに、ご意見等はありませんか。

（「なし」）

委員長：ないようなので、以上で質疑応答は終わります。

本日の審議会でのご意見をもとに修正案を作成するが、具体的な部分については、委員長に一任願いたい。

（「異議なし」と全委員了解）

委員長：本日の意見を集約した一覧と、それを基に修正した調査票等については、全委員に送付するように事務局に要請します。

（「承知いたしました。」と事務局回答）

委員長：以上で、本日の案件は全部終了しました。

事務局から連絡事項はありませんか。

事務局：次回の審議会は、意識調査の分析結果の報告やこの調査結果をもとに令和4年度中に改定を予定している「人権行政推進計画」について、考え方やご意見をいただく予定です。

また、現計画の進捗管理についてもご報告する予定です。

具体的な日程は、令和4年の1月を予定しています。

委員長：以上で閉会いたします。

**【開 会】**